

## 配置計画の基本的な考え方

- ①大きなピロティによって大幅な工事費増・環境負荷増が生じないコンパクトなL型平面の3階建てとします。
- ②三方からの車のアクセスや、国道40号・岩瀬高校・駅などからの多様な歩行者アクセスを考慮し、歩者分離を徹底します。
- ③「桜川ひろば」や「お花見ストリート」など、岩瀬地区の特性や自然環境、周辺施設とのつながりを生み出す計画とします。
- ④既存施設への影響がなく利用しやすさも高めるため、適切な離隔を設けながら連絡口を設けるなどの配慮を行います。
- ⑤桜川の氾濫を考慮して建物1階レベルを1m上げる断面計画（掘削土利用）とします。

### 【既存商工会に改修が発生しない配置】

- ・既存の商工会議所の延焼ライン（10m）にかからない配置とすることで、法的改修が必要とならない計画とします。

### 【お花見ストリート（公園連携）】

- ・市立公園と連続する「お花見ストリート」を設けることで、一体的な利用が可能な計画とします。
- ・公園や桜川の散策路と一体的に利用できるひろばとして設えます。

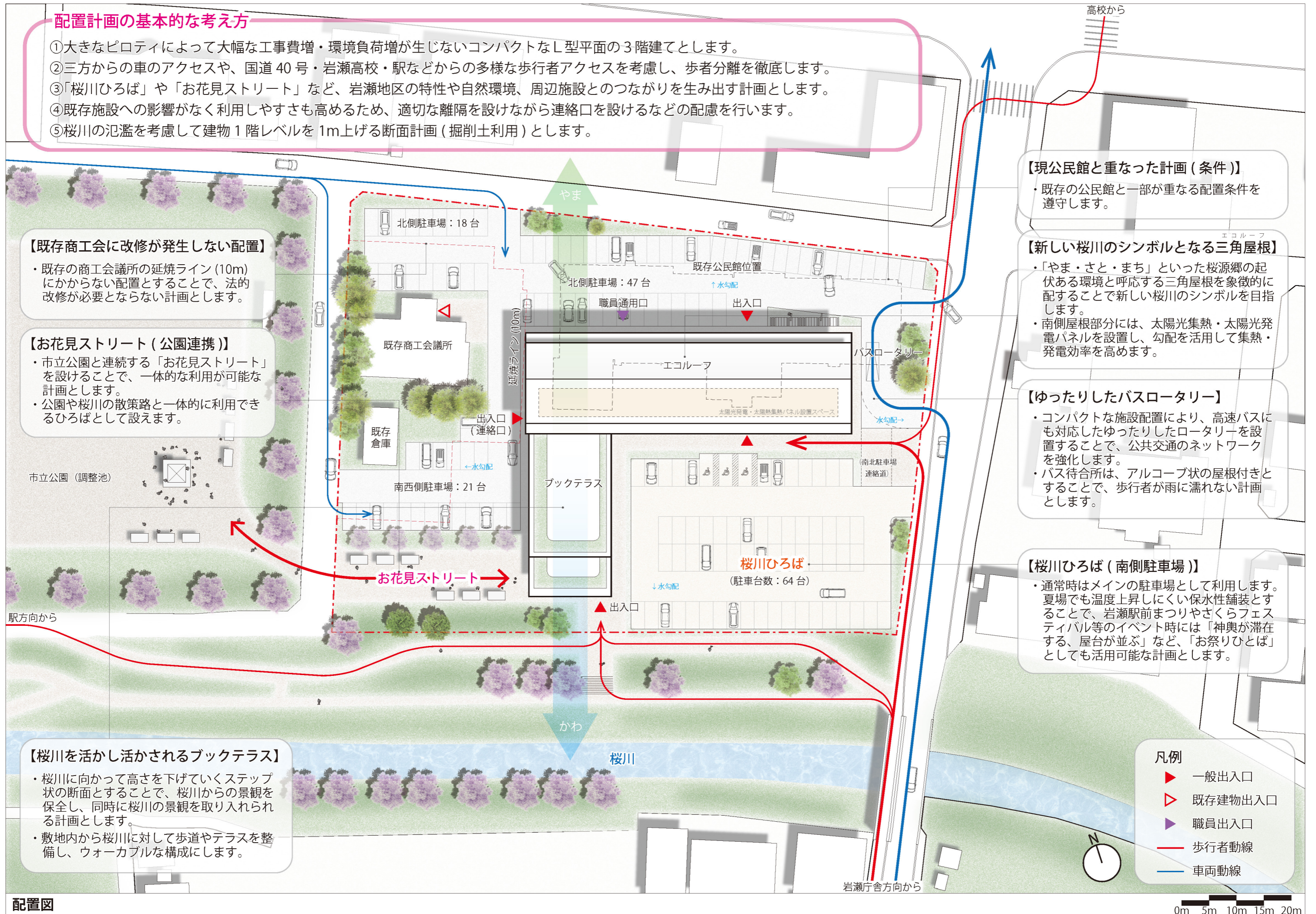
市立公園（調整池）

駅方向から

### 【桜川を活かし活かされるブックテラス】

- ・桜川に向かって高さを下げていくステップ状の断面とすることで、桜川からの景観を保全し、同時に桜川の景観を取り入れられる計画とします。
- ・敷地内から桜川に対して歩道やテラスを整備し、ウォークアブルな構成にします。

配置図



### 【現公民館と重なった計画（条件）】

- ・既存の公民館と一部が重なる配置条件を遵守します。

### 【新しい桜川のシンボルとなる三角屋根】

- ・「やま・さと・まち」といった桜源郷の起伏ある環境と呼応する三角屋根を象徴的に配することで新しい桜川のシンボルを目指します。
- ・南側屋根部分には、太陽光集熱・太陽光発電パネルを設置し、勾配を活用して集熱・発電効率を高めます。

### 【ゆったりしたバスロータリー】

- ・コンパクトな施設配置により、高速バスにも対応したゆったりしたロータリーを設置することで、公共交通のネットワークを強化します。
- ・バス待合所は、アルコーブ状の屋根付きとすることで、歩行者が雨に濡れない計画とします。

### 【桜川ひろば（南側駐車場）】

- ・通常時はメインの駐車場として利用します。夏場でも温度上昇しにくい保水性舗装とすることで、岩瀬駅前まつりやさくらフェスティバル等のイベント時には「神輿が滞在する、屋台が並ぶ」など、「お祭りひとば」としても活用可能な計画とします。

### 凡例

- ▶ 一般出入口
- ▷ 既存建物出入口
- ▶ 職員出入口
- 歩行者動線
- 車両動線

0m 5m 10m 15m 20m

## にぎわいのステップ(1階)の基本的な考え方

- ①まなびのステップ(2階)・創造のステップ(3階)での経験や成果を発信する「にぎわい」の中心となるステップ。
- ②「多目的ホール」や「大会議室」を中心に多くの人々が同時に使用できる空間を集約し、CAFE等のアメニティ機能を併設します。
- ③「桜川ひろば」や「お花見ストリート」等の外部空間と連携利用ができる計画することで、敷地全体を余すことなく使いこなします。
- ④L型平面の交差部分にコンパクトにまとめた管理部門を計画することで、全館に目が届く管理の容易な計画とします。

### 【コンパクトで管理しやすいスタッフエリア】

- ・北側駐車場と連続した位置にスタッフゾーンを設け、利便性に配慮します。
- ・公民館窓口・市役所分館機能窓口を別々に設け、それぞれ待合スペースを設けることで、滞りのない手続きが行える計画とします。

### 【にぎわいのステップのハブとなるカフェ】

- ・L字平面の交差部分にカフェを設けることで、多様な活動と連携した計画とします。
- ・「大ホールでの講演会の待ち時間にコーヒーを飲んで休憩する」、「ここでコーヒーを飲みながらラウンジで本を読む」、「軽食を買ってお花見に繰り出す」など、あらゆる活動のハブとしても機能します。

### 【外部連携・相互連携も可能なホールエリア】

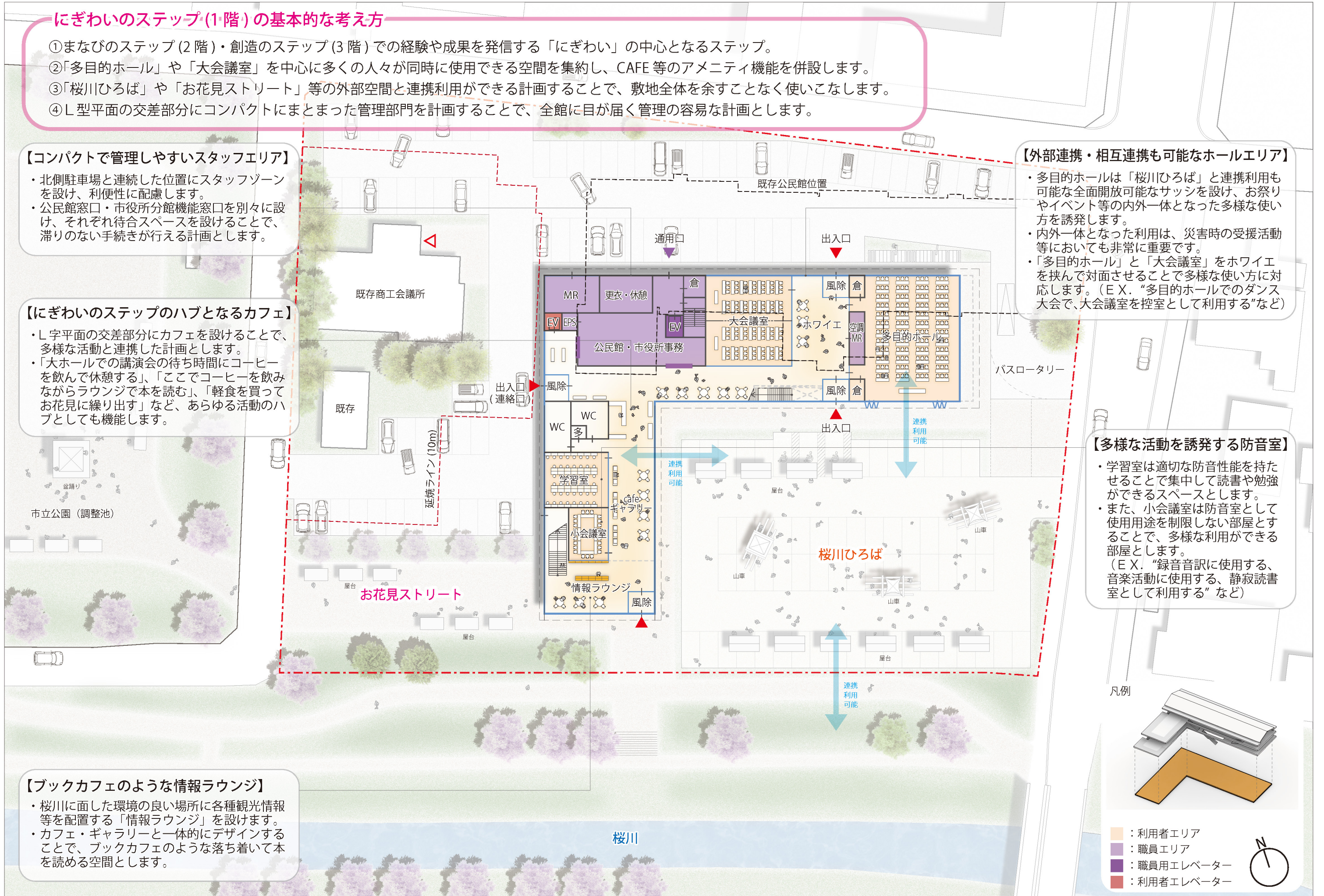
- ・多目的ホールは「桜川ひろば」と連携利用も可能な全面開放可能なサッシを設け、お祭りやイベント等の内外一体となった多様な使い方を誘発します。
- ・内外一体となった利用は、災害時の受援活動等においても非常に重要です。
- ・「多目的ホール」と「大会議室」をホワイエを挟んで対面させることで多様な使い方に対応します。(E X. “多目的ホールでのダンス大会で、大会議室を控室として利用する”など)

### 【多様な活動を誘発する防音室】

- ・学習室は適切な防音性能を持たせることで集中して読書や勉強ができるスペースとします。
- ・また、小会議室は防音室として使用用途を制限しない部屋とすることで、多様な利用ができる部屋とします。  
(E X. “録音音訊に使用する、音楽活動に使用する、静寂読書室として利用する”など)

### 【ブックカフェのような情報ラウンジ】

- ・桜川に面した環境の良い場所に各種観光情報等を配置する「情報ラウンジ」を設けます。
- ・カフェ・ギャラリーと一体的にデザインすることで、ブックカフェのような落ち着いた本を読める空間とします。



にぎわいのステップ(1階)平面図

0m 5m 10m 15m 20m

## 学びのステップ-(2階)-の基本的な考え方

- ①メインの図書館機能を集約したステップであり、桜川 commons の中心となるでもあります。
- ②NDC 分類に則った検索性の高い配架エリアとテーマ性の高い桜川 commons と関連した配架エリアで構成します。
- ③全長の長い L 型平面を活用し、静から動へのゾーニングにより、緩やかに音環境をコントロールします。

### 【管理しやすい図書館事務室】

- ・L 字平面の交差部分に設けることで、一般閲覧室、児童閲覧室、閉架書庫等すべてのエリアの管理が容易です。
- ・メインカウンターからはすべての BDS が監視でき、防犯性の高い計画です。

### 【アクセスしやすいレファレンスゾーン】

- ・デジタルミュージアムを中心とした、郷土資料・参考書エリアは図書館の中でもレファレンス対応が非常に多い部門です。このエリアはメインカウンターに近接して設けることで、業務効率・利便性に配慮した計画とします。

### 【学びに出会えるブラウジングストリート】

- ・主要な利用者動線に沿ってブラウジング(新刊本・特集本・雑誌・新聞等)を設けることで、市民が思いがけない「新しいまなび」に出会える場所とします。

### 【検索性の高い一般閲覧室】

- ・NDC 分類に基づいた配架計画とすることで、検索しやすく、利用しやすい閲覧室とします。

### 【準開架としても利用できる閉架書庫】

- ・事務室と隣接した位置に配置します。
- ・閲覧席を設け、準開架書庫としても利用可能な計画とします。

### 【託児機能と一体となった児童エリア】

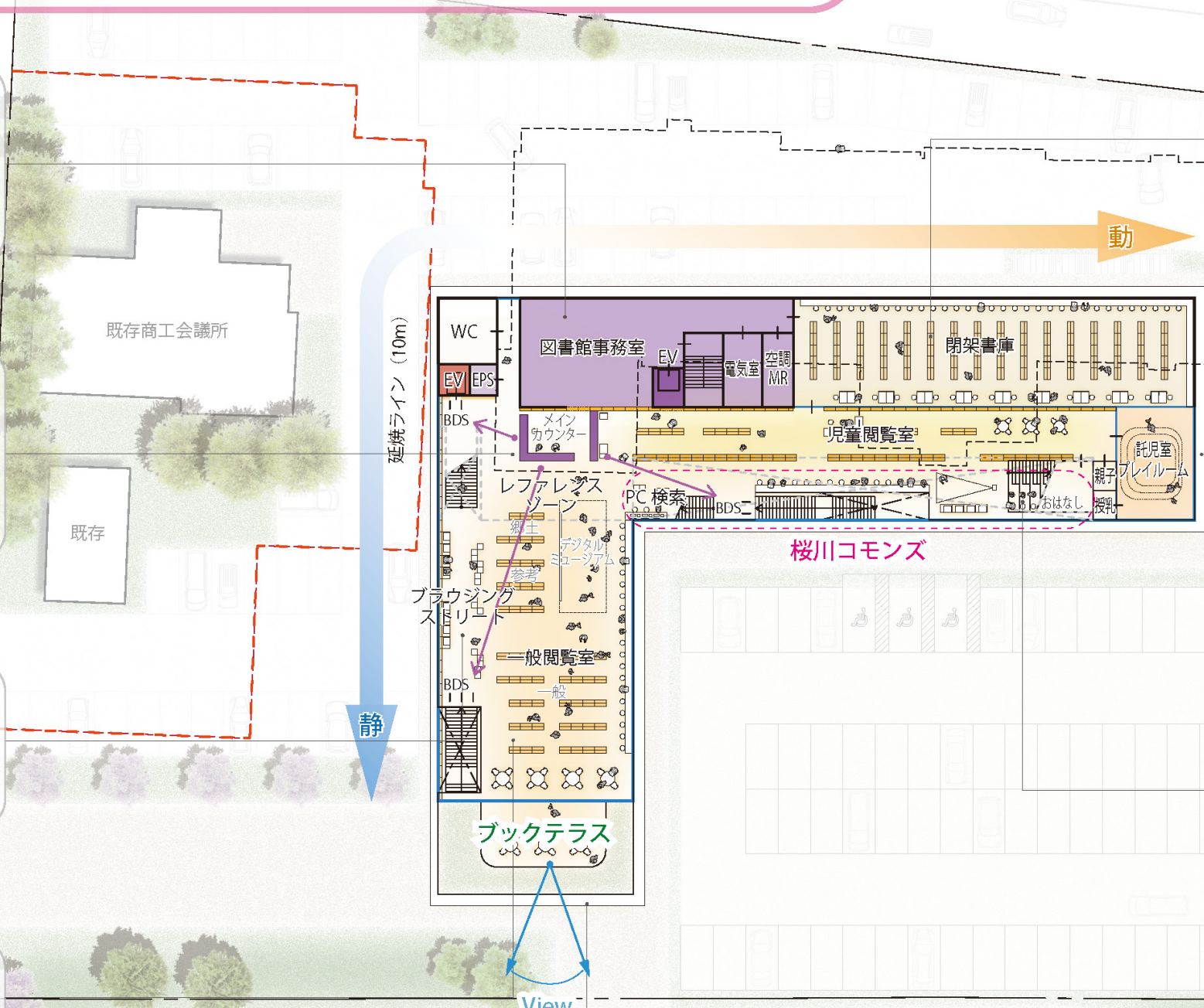
- ・児童閲覧室は託児室・プレイルームと一体配置します。
- ・児童エリア内には親子トイレ、授乳室を設けます。

### 【多様な議論を誘発するステップステージ】

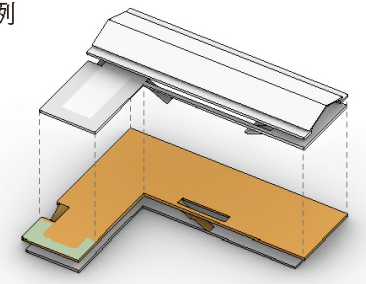
- ・3 階の動線も兼ねたステップ状のステージを設け、簡単なプレゼンテーションが行える設え(天吊りプロジェクター等)とすることで、多様な議論が誘発される空間とします。

### 【落ち着いて本が読めるブックテラス(2階)】

- ・静かなゾーンの先端にあるブックテラスは、川を感じながら落ち着いて本が読める特等席のような空間です。



凡例



- : 利用者エリア
- : 職員エリア
- : 職員用エレベーター
- : 利用者エレベーター



0m 5m 10m 15m 20m

## 創造のステップ(3階)の基本的な考え方

- ①調理・和室・健康・創作などのモノづくり・コトづくりを育むステップとします。
- ②公民館を主体としながら各機能と関連した図書館コンテンツが隣接し「融合」することで、新たな創造やまなびが生まれる計画とします。
- ③公民館の多様な活動と連携し、桜川の豊かな環境が見渡せる大きなテラスを設けます。

### 【桜川の里山を眺める個室空間】

- ・3階の公民館の諸室は、北側の安定した環境に設け、北西側の富谷山や北東側の雨巻山・高峰を眺められる位置に設けます。
- ・各活動室は、人の粗密や利用内容に応じて環境をコントロールできる空調設備を設けることで快適な環境を生み出します。

### 【多様な活動と連携する棚フレーム】

- ・ブックマウンテンを構成する棚フレームには、各公民館機能での活動に関連したコンテンツを配架します。
- ・コンテンツは本に限らず、創作スタジオでの制作物や和室での華道で製作された作品など、『混配』の考え方も取り入れながら計画します。

### 【桜川 commons 内の多様な居場所】

- ・桜川 commons 内には、長いカウンターデスクのほか、大人数で議論できる大きなテーブルや可動式の机等を設け、桜川市が目指す「アクティブラーニング」が行える空間として設えます。

### 【多様な活動を受け入れる広いブックテラス】

- ・3階には広いブックテラスを設け、公民館機能で展開する多様な活動の幅を広げる役割を果たします。  
(EX. 青空ヨガ教室、調理室で作った料理をテラスで食べる、屋外での調理イベント(創作室で作った流しそうめん機でみんなで食べる)、大きな丸太を切る・・・など)

